

教科 国語科(書写)	学年 第1学年
------------	---------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
がっこうの もじたんけん	1	○学校の中にはいろいろな文字があることに気づき、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	B: 校内にあるさまざまな文字に気づいている。校内にある文字をカードに書いている。 A: 校内にあるさまざまな文字に、よく気づいている。校内にあるさまざまな文字をカードに書いている。	B: 校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、考えている。 A: 校内にあるさまざまな文字が何のために書かれているのか、よく考えている。	B: 校内にあるさまざまな文字を探そうとしている。 A: 校内にあるさまざまな文字を粘り強く探そうとしている。
1 はじめの がくしゅう ①じを かくしせい ②えんぴつの もちかた ③たのしく かこう	1	○よい姿勢・鉛筆の持ち方を知ることができる。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で、自分の名前を丁寧に書くことができる。 ○よい姿勢・鉛筆の持ち方で、いろいろな線や形などを書き、運筆に慣れることができる。	B: よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。よい姿勢・鉛筆の持ち方で運筆している。 A: よい姿勢・鉛筆の持ち方で書くことを理解している。よい姿勢・鉛筆の持ち方で書き、運筆に慣れている。	B: よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。 A: 自分の姿勢・鉛筆の持ち方の良さあしを考えている。	B: よい姿勢・鉛筆の持ち方で書こうとしている。 A: よい姿勢・鉛筆の持ち方で積極的に書こうとしている。
2 ひらがなの がくしゅう ①せんの おわりの かきかた	1	○終筆(「とめ」と「はらい」)の書き方を理解することができる。 ○よい鉛筆の持ち方で、終筆の書き方に気をつけて書くことができる。	B: 終筆の書き方を理解している。終筆の書き方に気をつけて書いている。 A: 終筆の書き方の違いを理解している。終筆の形を整えて書いている。	B: 終筆の書き方について考えている。 A: 終筆の書き方の良さあしを考えている。	B: 終筆に気をつけて書こうとしている。ほかの文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 終筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。常に終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
②かきじゅん	1	○正しい書き順について知り、指でなぞって確かめることができる。 ○書き順に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 正しい書き順について理解している。正しい書き順で書いている。 A: 正しい書き順と、字形の整え方について理解している。正しい書き順で、字形を整えて書いている。	B: 正しい書き順について考えている。 A: 正しい書き順について、よく考えている。	B: 書き順に気をつけて書こうとしている。ほかの書写場面でも、書き順に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 書き順や字形に気をつけて書こうとしている。常に書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
③じを かきはじめる ところ	1	○文字の始筆(書き始めるところ)の位置について、理解することができる。 ○文字の始筆の位置に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 始筆の位置を理解している。 正しい始筆の位置で書いている。 A: それぞれの文字の始筆の位置の違いを理解している。 正しい始筆の位置で、字形を整えて書いている。	B: 始筆の位置について考えている。 A: 始筆の位置の良さあしを考えている。	B: 始筆の位置に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 始筆の位置に気をつけて、正しく書こうとしている。 常に始筆の位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。
④せんの とちゅうの かきかた	2	○送筆(「まがり」「おれ・おりかえし」「むすび」)の書き方を理解することができる。 ○送筆の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 送筆の書き方について理解している。 送筆の書き方に気をつけて書いている。 A: 送筆の書き方について、よく理解している。 字形を整えて送筆を書いている。	B: 送筆の書き方について考えている。 A: 送筆の書き方の良さあしを考えている。	B: 送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑤にて いる ひらがな	2	○形が似ている平仮名について、違うところを理解することができる。 ○形が似ている平仮名について、違うところに気をつけて書くことができる。	B: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を理解している。 似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書いている。 A: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を、よく理解している。 似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点について考えている。 A: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点について、よく考えている。	B: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら書こうとしている。 ほかの文字でも平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 似ている平仮名どうしの類似点や相違点を意識しながら、積極的に書こうとしている。 常に似ている平仮名どうしの類似点や相違点に気をつけて書こうとする意識をもっている。

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
⑥ますめの なかの かく ところ	1	<p>○拗音・促音，句読点，かぎ，濁音の書く位置や大きさを理解することができる。</p> <p>○ます目の中の書く位置に気をつけて，言葉や文章の中で正しく書くことができる。</p>	<p>B:拗音・促音などの書く位置や大きさについて理解している。 拗音・促音などを正しい位置で書いている。</p> <p>A:拗音・促音などの書く位置や大きさについて，よく理解している。 拗音・促音などを正しい位置で，大きさに気をつけて書いている。</p>	<p>B:拗音・促音などの書く位置や大きさについて考えている。</p> <p>A:拗音・促音などの書く位置や大きさの良しあしを考えている。</p>	<p>B:拗音・促音などに気をつけて書く意識をもっている。 ほかの文字でも，拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:拗音・促音などに気をつけて，積極的に書こうとしている。 常に拗音・促音などに気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
⑦じの かたち	1	<p>○それぞれの文字の，おおよその形を理解することができる。</p> <p>○文字の外形に気をつけて，正しく書くことができる。</p>	<p>B:文字の外形を理解し，練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。 おおよその形に気をつけて書いている。</p> <p>A:文字の外形をよく理解し，練習文字のまわりを「しかく」「さんかく」「まる」に囲んでいる。 おおよその形に気をつけて，字形を整えて書いている。</p>	<p>B:文字のおおよその形について考えている。</p> <p>A:文字のおおよその形について，よく考えている。</p>	<p>B:文字のおおよその形に気づき，学習への意欲をもっている。 ほかの文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:文字のおおよその形に気づき，積極的に学習に取り組もうとしている。 常に文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
【レッツ・トライ】 一よこがきの かきかた	適時	<p>○横書きの書き方を理解することができる。</p> <p>○数字の書き順と字形に気をつけて書くことができる。</p> <p>○他教科の学習や日常生活の中で，横書きの書き方に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。</p>	<p>B:横書きの書き方を理解して書いている。</p> <p>A:横書きの書き方を，よく理解して書いている。</p>	<p>B:縦書きの書き方との違いについて考えている。</p> <p>A:縦書きの書き方との違いについて，よく考えている。</p>	<p>B:横書きの書き方について知り，学習への意欲をもっている。 ほかの言葉でも，横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:横書きの書き方について知り，積極的に学習に取り組もうとしている。 常に横書きの書き方に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
⑧ひらがなの ひょう	1	○平仮名の書き順と字形に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 平仮名の正しい書き順や字形について理解している。 平仮名の書き順や字形に気をつけて書いている。	B: 平仮名の書き順や字形について考えている。	B: 平仮名の表を見ながら、先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に、取り組もうとしている。 A: 平仮名の表を見ながら、先生や友達の名前やさまざまな言葉を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。
A: 平仮名の書き順や字形の良しあしについて、考えている。					
3 かたかなの がくしゅう ①かたかなの かきかた	3	○片仮名の終筆(「とめ」「はね」「はらい」と送筆(「おれ」「まがり」)に気をつけて、正しく書くことができる。	B: 片仮名の終筆と送筆の書き方について理解している。 終筆と送筆を正しく書いている。 A: 片仮名の終筆と送筆の書き方について、よく理解している。 字形を整えて、終筆と送筆を書いている。	B: 片仮名の終筆と送筆の書き方について考えている。	B: 片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。 ほかの片仮名の言葉でも終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 片仮名の終筆と送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に片仮名の終筆と送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。
A: 片仮名の終筆と送筆の書き方の良しあしを 考えている。					
②じの かたち	3	○片仮名の外形の違いを理解して、正しく書くことができる。	B: 片仮名のおおよその形を理解している。 片仮名の外形に気をつけて、正しく書いている。 A: 片仮名のおおよその形の違いを、よく理解している。 片仮名の外形の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。	B: 片仮名の外形について考えている。	B: 片仮名の外形に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。 A: 片仮名の外形の違いに気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に文字の外形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
B: 片仮名の外形の違いについて考えている。					

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
③にて いる じ		<p>○文字の形が似ている片仮名を、点画の方向の違いを理解して、正しく書くことができる。</p> <p>○片仮名と平仮名の違いを理解して、片仮名で書く言葉を正しく書くことができる。</p>	<p>B:「点」と「はらい」の方向について理解している。「点」と「はらい」の方向に気をつけて書いている。片仮名と平仮名の違いを理解して書いている。</p> <p>A:「点」と「はらい」の方向の違いを、よく理解している。片仮名と平仮名の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:払う方向の違いについて考えている。片仮名と平仮名の形の違いについて考えている。</p> <p>A:払う方向の違いについてよく考えている。片仮名と平仮名の字形の違いについてよく考えている。</p>	<p>B:片仮名と平仮名の形の違いに気をつけて書こうとしている。ほかの文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。</p> <p>A:片仮名と平仮名の形の違いに気をつけて、積極的に書こうとしている。ほかの文字でも、常に字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
<p>学しゅうの すすめかた</p> <p>4 かん字の 学しゅう</p> <p>①かくの おわりの かきかた</p>	2	<p>○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方を理解することができる。</p> <p>○漢字の終筆(「とめ」「はね」「はらい」)の書き方に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B:終筆の書き方を理解している。終筆を正しく書いている。</p> <p>A:終筆の書き方の違いを理解している。字形を整えて、終筆を書いている。</p>	<p>B:終筆の書き方について考えている。</p> <p>A:終筆の書き方の良しあしを考えている。</p>	<p>B:終筆の書き方に気をつけて書こうとしている。ほかの文字でも終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:終筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。常に終筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
②かくの とちゅうの かきかた	2	<p>○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)を理解することができる。</p> <p>○漢字の送筆(「おれ」「まがり」「そり」)に気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B:送筆の書き方について理解している。送筆を正しく書いている。</p> <p>A:送筆の書き方の違いについて、よく理解している。字形を整えて送筆を書いている。</p>	<p>B:送筆の書き方について考えている。</p> <p>A:送筆の書き方の良しあしを考えている。</p>	<p>B:送筆の書き方に気をつけて書こうとしている。ほかの文字でも送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:送筆の書き方に気をつけて、積極的に書こうとしている。常に送筆に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
③文字の かたち	2	<p>○漢字の外形の違いを理解することができる。</p> <p>○漢字の外形の違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B:文字の外形を理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて書いている。</p> <p>A:文字の外形をよく理解し、練習文字のまわりを囲んでいる。 外形の違いに気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:文字の外形の違いを考えている。</p> <p>A:文字の外形の違いを、よく考えている。</p>	<p>B:文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。 ほかの文字でも文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:文字の外形の違いに気づき、積極的に学習に取り組もうとしている。 常に文字の形の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
④かきじゅん	2	<p>○書き順の原則(上から下へ、左から右へ、横から縦へ)を理解することができる。</p> <p>○書き順に従って、文字を正しく書くことができる。</p>	<p>B:書き順の原則を理解している。 書き順の原則に従って、正しく書いている。</p> <p>A:それぞれの文字の書き順の違いについて、よく理解している。 書き順の原則に従って、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:書き順の原則について考えている。</p> <p>A:書き順の原則や字形について、よく考えている。</p>	<p>B:書き順の原則に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:書き順の原則に気をつけて、意欲的に書こうとしている。 常に書き順の原則に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。</p>
⑤かきぞめ	3	<p>○書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、書き順や字形(「とめ」「はね」「はらい」)に気をつけて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B:書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形について理解して書いている。</p> <p>A:書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形についてよく理解し、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。 書き順や字形について考えている。</p> <p>A:書き出しの位置や、句読点について、よく考えている。 書き順や字形について、よく考えている。</p>	<p>B:書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて書こうとしている。 書き順や字形に気をつけて書こうとしている。 ほかの文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて、積極的に書こうとしている。 常に書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
⑥かくの ながさと ほうこう	2	<p>○画の長さの違いを理解することができる。</p> <p>○画の長さの違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p> <p>○「おれ」の方向の違いを理解することができる。</p> <p>○「おれ」の方向の違いに気をつけて、正しく書くことができる。</p>	<p>B:画の長さの違いについて理解している。「おれ」の方向の違いについて理解している。画の長さの長さに気をつけて書いている。「おれ」の方向に気をつけて書いている。</p> <p>A:画の長さの違いについて、よく理解している。「おれ」の方向の違いについて、よく理解している。画の長さの長さに気をつけて、字形を整えて書いている。「おれ」の方向に気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:画の長さの違いについて考えている。「おれ」の方向の違いについて考えている。</p> <p>A:画の長さの違いについて、よく考えている。「おれ」の方向の違いについて、よく考えている。</p>	<p>B:画の長さの長さに気をつけて書こうとしている。「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとしている。ほかの文字でも画の長さの長さに気をつけて書こうとする意識をもっている。ほかの文字でも「おれ」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:画の長さの長さに気をつけて、意欲的に書こうとしている。「おれ」の方向の違いに気をつけて、積極的に書こうとしている。常に画の長さの長さに気をつけて書こうとする意識をもっている。常に「おれ」の方向の違いに気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
【かいて つたえあおう】 ありがとうカードを かこう	2	<p>○学習したことを生かして、字形や書き順に気をつけて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B:カードの書き方について理解している。字形や書き順に気をつけて書いている。</p> <p>A:カードの書き方について、よく理解している。字形や書き順に気をつけて、丁寧に書いている。</p>	<p>B:カードの書き方について、考えている。</p> <p>A:カードの書き方について、よく考えている。</p>	<p>B:友達に贈るカードを、相手意識をもって意欲的に書こうとしている。ほかの学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。</p> <p>A:友達に贈るカードを、相手意識をもって、積極的に書こうとしている。常に相手のことを考えて、丁寧に書く意識をもっている。</p>
学しゅうの まとめ	2	<p>○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができる。</p> <p>○字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書くことができる。</p>	<p>B:文字の形や書く位置について理解している。字形や書く位置に気をつけて書いている。</p> <p>A:文字の形や書く位置について、よく理解している。書く位置に気をつけて、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:今まで学習した内容について考えている。</p> <p>A:今まで学習した内容について、よく考えている。</p>	<p>B:学習したことを生かして書こうとしている。ほかの文章でも、字形や書く位置に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:学習したことを生かして、積極的に書こうとしている。常に字形や書く位置に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ひつきようぐを えらんで かこう	適時	<p>○書く目的に合わせた筆記用具を選ぶことを知ることができる。</p> <p>○1年間の学習の成果を生かして、自分の名前を丁寧に書くことができる。</p>	<p>B:筆記用具の使い方を理解している。自分の名前を丁寧に書いている。</p> <p>A:筆記用具の使い方を、よく理解している。筆記用具の特徴を生かして、自分の名前を丁寧に書いている。</p>	<p>B:筆記用具の種類と用途の違いについて考えている。</p> <p>A:筆記用具の種類と用途の違い、効果の違いについて考えている。</p>	<p>B:筆記用具の違いを意識して、確かめようとしている。ほかの文字でも筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p> <p>A:筆記用具と用途の違いを意識して、確かめようとしている。常に筆記用具の使い方に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>
【しりたい 文字の せかい】 なんの かたちから できた かん字かな	1	<p>○自然の形からできた漢字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。</p>	<p>B:漢字の成り立ちについて理解している。学習した漢字について、字形に気をつけて書いている。</p> <p>A:漢字の成り立ちについて、よく理解している。学習した漢字について、字形を整えて書いている。</p>	<p>B:漢字の成り立ちについて考えている。</p> <p>A:漢字の成り立ちについて、よく考えている。</p>	<p>B:漢字の成り立ちに対する興味・関心をもって書こうとしている。ほかの漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。</p> <p>A:漢字の成り立ちに対する興味・関心を持ち、積極的に書こうとしている。ほかの漢字についても、その成り立ちについて関心をもって調べている。</p>
【かん字の ひょう】 一年生で 学しゅうする かん 字	1	<p>○1年生で学習した終筆(「とめ」「はね」「はらい」)や送筆(「おれ」「まがり」「そり」)などの漢字の書き方を確かめることができる。</p>	<p>B:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形について理解している。送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間集めなどを行っている。</p> <p>A:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形について、よく理解している。終筆・送筆などの違いによって、漢字を正しくグループ分けしている。</p>	<p>B:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形の良さあしを考えている。</p> <p>A:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形の良さあしについて、よく考えている。</p>	<p>B:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形を確かめようとしている。ほかの文字でも終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。</p> <p>A:終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけて、積極的に書こうとしている。常に終筆・送筆の書き方や、書き順や字形に気をつけようとする意識をもっている。</p>

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
しよしゃの たいそう	適時	○1年生で学習した始筆、送筆、終筆の書き方について、興味・関心を高めながら確かめることができる。	B: 始筆、送筆、終筆の書き方について理解している。 A: 始筆、送筆、終筆の書き方について、よく理解している。	B: 始筆、送筆、終筆の書き方について考えている。 A: 始筆、送筆、終筆の書き方について、よく考えている。	B: これまでに学習した始筆、送筆、終筆の書き方について確かめようとしている。ほかの文字でも始筆、送筆、終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。 A: これまでに学習した始筆、送筆、終筆の書き方について、積極的に確かめようとしている。常に始筆、送筆、終筆の書き方に気をつけようとする意識をもっている。
【かたかなの ひょう】 水しようしの つかいかた もくじ		○片仮名の書き順や字形、拗音・促音・音引きなどの書くきまりを確認することができる。 ○片仮名の言葉を探す活動に、意欲的に取り組むことができる。	B: 片仮名の筆順や字形について理解している。 A: 片仮名の筆順や字形について、よく理解している。	B: 片仮名の字形や筆順について考えている。 A: 片仮名の字形や筆順について、よく考えている。	B: 片仮名の筆順や字形を確かめている。片仮名の言葉を探している。常に片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。 A: 片仮名の筆順や字形を、積極的に確かめている。片仮名の言葉を探している。常に片仮名の筆順や字形を確かめて、丁寧に書こうとする意識をもっている。